

地場・中小労働組合役員の方を対象に出前講座を実施しました。

労働委員会では、安定した労使関係の構築に向け、企業等における自律的な紛争解決の支援として、出前講座を実施しています。

平成29年2月18日(土)、連合広島が開催した「地場・中小労組対話集会」で、地場・中小労働組合役員の方(参加者約40名)を対象に出前講座を実施しました。

当委員会の公益委員である山川委員(広島大学大学院法務研究科教授)から、「長時間労働対策に関する最近の動向」と題して、長時間労働対策に関する法的な問題点や国の検討状況を中心に講話を行いました。



アンケート回答では、「理解できた」、「役に立つ」が大多数で高い評価を受けました。また、自由意見では、「未払い残業が自分の職場にも問題になっており、とても参考になった」、「新たな知識が得られた」などの意見が寄せられました。

労働委員会では、アンケート結果に基づき出前講座の充実を図っていきます。